



発行日 2025年10月15日
 発行人 田辺 証 夫
 編集人 小堀 日出春

VOICE

NO. 140

LMI世界宣教会
 LMJapan
 振替 00110-1-91993

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

「悔い改めよ」

バングラデシュ医療宣教師
 近藤 恵

みなさまお元気ですか？暑い夏でしたね。あえて私は「今年は暑い夏でしたね」とは、書きません。来年はもっと暑いかもしれないと思っているからです。エネルギーの使用を抑えたいと思っている私も、午前中から冷房をつけざるを得ませんでした。「冷房を適切に使用してください」とテレビではさかんに放送していました。「暑いから冷房をつける→石油を使う→CO₂が産生される→もっと暑くなる」単純な私の頭では、このような図式しか描けません。人類が減るのを防ぐことができるのは、とうてい思えないのです。

「さて、今何が一番必要な事なんだろう」と考えていました。以前、温暖化対策に熱心な方のYouTubeを見ていた時、「個人個人が電気の使用を節約するなどしていても、それは微々たるもの。環境問題に真剣にとりくむ政治家や企業を選ぶ必要があります」というのを聞いて「なるほど」と思いました。でも、環境問題を声高く発言する政治家には、なかなか出会えません。今はみんな日本の経済のことを一生懸命訴えています。「収入が増えて快適な暮らしができる前に、地球が減ったらどうしようもないんじゃないのかなあ」と思ってしまいます。

聖書に何か教えがあるのでしょうか？国が減びそうなときに何をするか？そこで思い出したのがヨナ書。「あと40日すると、ニネベは滅びる」（ヨナ書3：4）とヨナ

が叫ぶと、ニネベの王は、「ひたすら神に願い、それぞれ悪の道と、その横暴な行いから立ち返れ」（同3：8）と布告します。神は、悪の道から立ち返ったニネベの民を見て、わざわざを思い直すのです。

「これだよな」と思いました。神様は人間を創られ「生めよ。増えよ。地に満ちよ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物を支配せよ」（創世記1：28）とおっしゃった時、人間の利益のみ考えて、この地と生き物を好きなように支配せよとおっしゃったのではないでしょう。神様がこの地とすべての生き物を創り終えられた時「見よ、それは非常に良かった」（創世記1：31）のですから、良い状態を保つように管理せよということだったはずですよ。それを人間は、好き勝手に

支配し、たくさんの動物が絶滅し、森林を破壊し、海を汚し、地球と人類が減びゆくのが目に見えているこの時にも、なすすべを知らず、未だに自分たちの利益しか考えていません。今、何が必要なのか？神を知らず、自分たちのことしか考えない人間たちに「悔い改めよ」と叫ぶことなのだと思いました。



松見ヶ丘キリスト教会で行われたデピューテーションの出席者たちと＝2025年10月1日

*

6月9日の理事会でバングラデシュの働きを終了することが承認されました。8月から来年3月まで各教会を訪問させていただき、今までのご支援に対する感謝と報告の時を持っています。お招きいただければ幸いです。

【祈りの課題】

- 現在各教会を訪問させていただいていますが、このことを通して、主の栄光を表すことができるように。良い交わりがあるように。
- 高齢の母のために。8月で98歳になりました。何とか一人暮らしをできています。感謝です。
- ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルのために。イスラム教の地でよい証しをすることができるように。
- 無牧の自治医大前キリスト教会のために。
- 母と姉の救いのために。

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1
 ☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付
 E-mail: meg0_02007@yahoo.co.jp

そんなことはありません。わたしはあなたがたに言います。あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。



ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師
笹川雅弘・由利子

NY信徒によるゴスペル伝道継承が実現しました

今年7月にリッジウェイ教会の日本人宣教部門としてのNYめぐみ教会が閉じられた後も、現地の信徒たちが日本人ゴスペル伝道継続のため、調査と交渉を粘り強く行ってきました。その結果、リッジウェイ教会の礼拝堂を引き続き練習とコンサートの会場として使用させていただけることになりました。当初は難しい状況でしたが、この活動の意義を良く理解してくれていた元リッジウェイ教会牧師であるスタンリー師が交渉と説得に加わってくださり、実現しました。またスタンリー牧師は個人的にもコンサートでのメッセージなど、伝道活動に協力していただけることになりました。現地の信徒たちは私たちと連絡を取りつつ互いに連携して年末のコンサート開催へ向けて現在、準備を進めています。これまでゴスペル伝道を通し子どもたちを含めて多くの求道者に福音の種が蒔かれ、決心者・受洗者も起こされてきました。この働きが今後も継続される見通しが立ちましたことに主のみわざを実感しています。

NY ゴスペル同窓会

ゴスペルクワイアがグリニッチにおいて始まったのは2014年秋でした。駐在員の奥様たちが中心のクワイアですからメンバーたちは次々と帰国します。そのような中、私たちの帰国以前から、同窓会が行なわれるようになりました。現在、同窓会の案内は127名に送っています。このクワイアを通して福音を知り、受洗に導かれた人は4名です。

ゴスペルの働きの素晴らしいところは、メンバーのほとんどが未信者で、彼らが教会に足を運び、聖書のことばに触れ、福音のメッセージを歌い、覚えてしまうことです。確実な種まきがなされるのです。彼らが続けて心を開き、神様を求めていけるように、

前を向くクリスチャンたち

NYめぐみ教会以外にも、無牧となった群れがNY州にはいくつか存在します。アメリカでは、日本人の牧師招聘が難しくなっているという現状の中で、邦人クリスチャンたちは互いに励まし合いながら交流しています。9月6日にはマンハッタンで日本人クリスチャンによる合同賛美集會が持たれました。無牧になった後、信仰生活を守るだけでなく、ゴスペル伝道という形で積極的に宣教活動にかかわる彼らの姿は、他のクリスチャンへの良い証しとなっているようです。

笹川宣教師夫妻の教会訪問

私たちは現地の宣教活動のサポートを継続しつつ、来年3月末までは日本の支援教会を訪問し、デピューテーションを行います。礼拝／祈り会での奉仕・デピューテーションのためにお招きいただける教会がありましたら、ぜひ私たちのメールアドレス、msasakawa777@gmail.comまで直接ご連絡ください。主日礼拝でも祈禱会でも、オンラインによるご奉仕も可能です。

【祈りの課題】

- NYの信徒たちの信仰生活が守られ、彼らの宣教活動、特にゴスペル伝道の働きが実を結ぶように。
- これまでNYめぐみ教会の宣教活動を通して多くの求道者の上に蒔かれた福音の種が時満ちて信仰となって実を結ぶように。
- 将来、日本人宣教師が与えられ教会としての宣教活動が再開できるように。
- 笹川宣教師夫妻の日本での奉仕を通して主のみわざと恵みが証しされるように。

祈りつつフォローしています。現在、同窓会の企画運営は、元々クリスチャンであったメンバーとゴスペルを通して受洗したメンバー、合わせて7名でしています。このチームの交わりも楽しみつつ、感謝と喜びをもって働きを続けています。

(前NY周辺邦人宣教師/LMJ理事・立石聖美)



今年8月の同窓会に出席したメンバーたち

ニューヨーク周辺邦人宣教・元宣教師 近藤 泉

神が共にいて くださったので ～NY邦人宣教を振り返って～

1990年5月 NYに着任

1986年、スイスの神学校を終える頃、私達夫婦は卒業後の進路を祈り求めていた。当時、LMA(リーベンゼラミッション・アメリカ)のディレクターをしていたイエガー先生とのやり取りがきっかけで、NY邦人宣教の可能性を考え始めた。彼は以前、茨城県で宣教師をしていたこともあり、邦人宣教に重荷があった。NY周辺の邦人人口は急増中、しかし、日本語教会は数える程ということで、邦人宣教の必要は急務と思われた。ヨーロッパでの宣教の働きを考えていた中で、米国行き話が急に出て来たので、私としては受容するのに時間を要した。

帰国し、落ち着いて考えてみれば、私達のビジョンを理解し、応援してくれる団体は日本にはない。英語は話せない。運転免許もない。開拓伝道の経験ゼロ。これだけではないづくしの状況の中でも、神様がNYに導いておられるという確信だけは、日々、強められていった。なんとも不思議としか言いようのない心境であった。

祈り、動き始めてゆくと、主は一つ一つ扉を開いて下さった。本郷台キリスト教会が母教会、リーベンゼラ海外宣教委員会が派遣機関となり、デピュテーションなど4年間の準備期間を経て、私達は1990年5月にNYに派遣された。LMAが私達の米国での支援母体となった。LMAの理事の一人がシュリーバー先生で、彼がウエストチェスターのチャパクワのルーテル教会で牧師をしていたので、チャパクワで開拓伝道を開始することになった。

1995年9月には、邦人人口のより多いグリニッチに移転することになり、そこでも私達はルーテル教会で礼拝



「宣教10周年」の礼拝時の宣教師夫妻

New York, Then

を捧げるようになった。当時、20名ほどの群れとして成長していた。そして2003年、後継者として備えられた立石尚志・聖美先生にバトンタッチして帰国するまで、その地で邦人宣教に励むことができた。

13年間の宣教、実り多く

振り返って思うことは、「全くのゼロからの開拓、良くやれたなあ」という感謝の思いである。心身共に強靱とは言えない、そんな私に馬鹿力が出たのは主が先行しておられたからだと思う。流動の激しい駐在員主体の働きで疲弊してしまうこともあった。しかし、主は支え続けてくださった。そして、この13年の間に多くの方々が信仰に導かれ、私達の教会に来たことがきっかけで、信仰を回復する人々も起こされた。困難もあったが、主はNY宣教の働きを導き、支え、祝福してくださった。帰国したメンバー達は日本各地に導かれ、各々の教会で中心的な働きを担っておられる。これも私達夫婦にとって大きな喜び、励ましとなっている。



駐在員の帰国に際して開かれた送別会

「備えてくださる神に委ねる」

VOICE前号の「NY35年の宣教に一時幕」の見出しを見て、複雑な思いが心をよぎった。しかし、これだけはいえると思う。主は何もない所にも、道を開いてくださるお方である。主の導きであれば、ビジョンも人材もそして宣教の場も備えてくださる。今後のNY宣教、そしてLMJの働きを主の御手に委ねてゆきたいと思う。

「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」(Iコリント 2:9)

(大田原キリスト教会協力牧師)

※お詫び：前号139号の「New York Then」の記事の写真説明で「八田夫妻」とあるのは「曾田夫妻」の誤りでした。心よりお詫びして訂正いたします。(編集人)



エクアドル

《ルフ・タベア宣教師 の証し》

「カサ・アガ ペ」について

ヨリタ=写真=は、自分の実家でも多くの暴力を経験してきました。彼女の夫は女性を軽蔑し、さらに孫娘は長い間、自分の父親から性的虐待を受けていました。家族の中には多くの苦しみ、無力感、そして絶望があります。私の娘リナの誕生日会をきっかけで、リナの友だちのおば



あさんであるヨリタと出会いました。私は彼女に「カサ・アガペ(愛の家)」について話しました。私たちが今建てている女性のためのシェルターで、家庭内暴力を受けた女性が避難し、カウンセラーたちに寄り添ってもらえる場所です。しばらくして再びヨリタに会ったとき、彼女は「一度あなたと話がしたい」と言いました。それ以来私たちは定期的に会い、毎回1篇の詩篇と一緒に読んでいます。

ヨリタにとって、最初は自分の苦しみを神に訴え、問いや絶望をそのまま口に出すことは慣れないことで

した。彼女は以前、教会に通ったことがありましたが、そこで嫌な経験をしたことがありました。しかし、私が彼女を私たちの教会「プエンテ・デ・アモール」に招いたときから、彼女は忠実に礼拝に出席するようになりました。また、女性の祈りの会でも新しい力と希望を受け取っています。孫娘は子どもの礼拝に参加しています。

私はヨリタとともに、彼女の夫や2人の成人した子どもたちがイエスに出会えるようにと多く祈っています。神はその祈りに応えてくださっているところです。娘さんと息子さんは今では母親と共に礼拝に通い始め、聖書を読み始めています。また、ヨリタの夫も信仰に対して以前ほど閉ざされてはいません。どうか皆さんもヨリタの家族のために祈ってください。そして、さらに多くの女性たちがイエスにあって新しい希望を見出し、私たちが「カサ・アガペ」を通してその助けとなれるようにお祈りください。

理事会便り

★毎月第一金曜日行われている「LMJ祈禱会」に是非ご参加ください！お問い合わせは事務局まで。

★近藤恵医療宣教師：2026年3月まで、次の働きを祈り模索しつつデピュテーションを行っています。働きの祝福のために。ジョイランクーラ・クリスチャン・ホスピタルの必要のために続けてお祈りください。同刻の祈りにもご参加ください。

★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻：腰痛などの健康の試みの中、デピュ

テーションの働きが守り祝福されますように(2026年3月まで)。ゴスペルワークショップとコンサートが継続されることとなりました。

NYの地にある兄弟姉妹の信仰の歩みが守れら導かれますように。日本からサポートする笹川宣教師の働きのために。

★各宣教師を支える会、理事会：宣教師を正しく祈りのうちにサポートするために用いられますように。宣教師志願者が起こされた時の十分な備えのために。

★ホームページが公開されています (<https://liebenzell.jp/>)。更新のために知恵が与えられます

ように。右のQRコードからお入りください。



★JOMA、メンバーケアミーティングなどの他団体との働きが祝福されますように。

★世界宣教への思いがある方、ご連絡ください。共に祈りましょう。

【祈り】「わたしは、あなたがたとともにいる——主のことば」(ハガイ1:13)とのことばに力を得て、これからの働きにも取り組み続けます。

(田辺証夫・LMI世界宣教会理事長)

LMI世界宣教会 (LMJ)

(LMJ 本部 & ☎226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4(かみい聖書教会気付) ☎&Fax 045-931-3312)

献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」

【常任理事】田辺証夫(理事長 lmijapan.tanabe@gmail.com) 熊久保公義(副理事長&書記) 村上正道(会計)

グロース・アンドレアス(LMI担当) 小堀日出春(Bg、Voice編集) 立石聖美 【協力理事】木島正敏 兵藤陽子 立石尚志

【監事】野村卓一、佐藤陽一 【会計事務】安藤真里 佐藤かおり